

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
62231	選手会補助事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	2
62231	競輪施設等改善事業基金積立事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	3
62231	選手賞典事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	4
62231	選手管理事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	5
62231	場内警備事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	6
62231	競輪広告事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	7
62231	ファンサービス事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	8
62231	従事員共済会運営事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	9
62231	従事員等福利厚生事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	10
62231	施設維持管理事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	11
62231	機器等管理事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	12
62231	場外開催事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	13
62231	全国競輪施行者協議会事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	14
62231	払戻金事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	15
62231	JKA委託事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	16
62231	JKA交付金事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	17
62231	地方公共団体金融機構納付金事業	産業経済部	競輪事務所	シートA	18
69999	競輪事業特別会計繰出金	産業経済部	競輪事務所	シートA	19
69999	他会計借入金元金	産業経済部	競輪事務所	シートA	20
69999	他会計借入金利子	産業経済部	競輪事務所	シートA	21

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 木村 優太

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	選手会補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	効率的な財政運営の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-			
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等		松山市補助金交付条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	・地元選手会やアマチュア育成等に補助金を交付し、選手のレベルアップを図ることで、競輪事業の活性化とそれに伴う車券売上の増収につなげることを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	・地元選手が活躍することで、売り上げ増加が期待できるため、選手の育成等にかかる経費を補助することとなった。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象：一般社団法人 日本競輪選手会 四国地区本部 一般社団法人 日本競輪選手会 愛媛支部 全日本プロ自転車競技大会への四国地区選手の派遣及び同大会への四国地区の出場選手を選考する地区大会や愛媛支部の記録会に対する補助金を支出 愛媛支部所属選手及びプロを目指すアマチュアの強化訓練に対する補助金を支出						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	負担する性質でない。			
始期・終期(年度)	昭和	39	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	事務局費	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度					R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				1,970			1,940		1,940			
決算額(B)(単位:千円)				610			1,810		1,940			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0			
	県支出金			0			0		0			
	市債			0			0		0			
	その他			610			1,810		1,940			
	一般財源			0			0		0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							補助金:1,810千円		負担金:30千円 補助金:1,910千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			1,360		130			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・四国地区プロ自転車競技大会に対する補助金を支出した。 ・プロを目指すアマチュア選手の強化 訓練への年間を通じた活動への補助金を支出した。 ・選手会愛媛支部プロ自転車競技記録会に対する補助金を支出した。 ・愛媛県競輪選手技能強化訓練に対する補助金を支出した。 ・全日本プロ自転車競技大会に対する補助金は、新型コロナウイルス感染拡大により大会が中止となったため支出なし。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染拡大により大会中止となったため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		・上位級班(S級選手)の在籍数が高水準を維持し、アマチュア選手からプロ選手2名を輩出した。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	補助金の交付に当たり、引き続き事業内容等を確認し、適正な手続きを行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		全日本プロ自転車競技大会への四国地区選手の派遣や、同大会への四国地区の出場選手を選考する地区大会や愛媛支部の記録会への補助の他、愛媛支部所属選手やプロを目指すアマチュアの強化訓練への年間を通じた活動への補助を行う。その結果、上位級班選手やプロテストに合格するアマチュア選手の増加が見込まれる。	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	中津 優	担当者名	主査	岡崎 弘	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	競輪施設等改善事業基金積立事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する					重点プロジェクト	-		
施策	効率的な行財政運営の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営				市長公約				
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市競輪施設等改善事業基金条例								
事業の目的(どのような状態にするか)	今後見込まれる施設等の更新に必要な財源を確保する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	今後の施設等の更新に必要な財源を確保する手段として、特別会計予算から積立てを行う基金を新設した。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	多目的競技場の施設等の更新に必要な財源を確保するため、年度終了後、出納整理期間内で、収入から支出を差し引いた収益から積立て可能な金額を算出して同基金に積立てを行う。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	平成	24	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	事務局費	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度					R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					590,211				200,300			300,300
決算額(B)(単位:千円)					590,211				910,313			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金						0			0
			県支出金						0			0
			市債						0			0
			その他			590,211			910,313			300,300
			一般財源			0			0			0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								積立金:910,313千円			積立金:300,300千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による増(流用710,013千円)				
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)						-710,013			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	今後必要とされる施設等の更新時期と費用について、施設更新計画を考慮しながら、今年度の収支より積立金額を算定する。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		令和3年度も昨年度に引き続き一定の収益を確保できる見込みであり、当初予算額を上回る基金への積立てを行う予定である。(積立金額確定:令和4年5月末)					
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		今後の施設等の更新に必要な資金を確保することができた。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	予想以上にバンクの劣化が進んでいるなど、施設維持の中長期的改修計画の見直しが必要。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			売上向上に取組み事業や経費の見直しを行う			
R4年度の目標	改修計画の見直し 多くの収益を生み出し、計画的に積立を行う				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			必要な時に基金が不足しないよう、経営の効率化による収益の確保と、更新計画の見直し、ファン確保への取組みを継続する。			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口出見	リーダー名	副主幹	義農 優子	担当者名	主幹	庄司 求	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口出見	リーダー名	副主幹	岡本徹也	担当者名	主幹	庄司 求	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	選手賞典事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行財政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市自転車競走賞金支給及び疾病傷害治療規則					
事業の目的(どのような状態にするか)	競輪事業の運営を円滑に推進するため、参加選手に賞金を支払うなど補完的業務を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	競輪事業の開始による。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	競輪開催時の参加選手、誘導選手、予備選手に賞金を支払う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費		目	開催経費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					679,553			708,548				954,025
決算額(B)(単位:千円)					566,247			614,763				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金		0			0				0
			県支出金		0			0				0
			市債		0			0				0
			その他		566,247			614,763				954,025
			一般財源									
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							報償費:614,763千円			報償費:954,000千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	113,306			93,785				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	競輪開催における参加選手等に賞金を支払う。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	開催中止や順延等の賞金が増える事案がなく、円滑に競輪開催が行えた。								
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	競輪事業を円滑に開催するために必要不可欠な業務であるため。									
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない						
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	賞金が増加傾向にある。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			選手会をはじめ関係機関との協議検討を行う。					
R4年度の目標	賞金は原則現金受け渡しとなるため、現金管理と支払い事務を適正に行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			事故のないようしっかりと現金管理を行う。賞金の増額については協議の回数を増やす。					

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322		
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口出見	リーダー名	副主幹	担当者名	主幹	庄司 求	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322		
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口出見	リーダー名	副主幹	担当者名	主幹	庄司 求	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	選手管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な財政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 自転車競技法施行規則第40条、競輪に係る業務の方法に関する規定第156条第1項、松山市自転車競走賞金支給及び疾病傷害治療規則、競輪の選手管理の要領

事業の目的(どのような状態にするか)	出場選手の身体検査及び競輪開催中の落車等による選手の故障(ケガ)の応急治療の体制を整備する。松山競輪の開催が滞りなく運営できるように参加選手とJKA等関係者との調整や指導等を行う。				
背景(どのような経緯で開始したか)	競輪を開催するに当たって、上記根拠法令等により、医師及び開催指導員の配置が定められているため。				
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	出場選手の身体検査、健康管理、疾病治療及び早期適正治療並びに競輪開催中の落車等による選手の故障(ケガ)の応急治療のため、競輪開催中に従事する医師の配置及び謝礼の支払いを行う。競輪開催中の参加選手とJKA等関係者との調整や指導等を行う。				
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 17	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	開催経費	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度					R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					15,717				26,107		18,467	
決算額(B)(単位:千円)					15,306				24,492			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金		0				0		0	
			県支出金		0				0		0	
			市債		0				0		0	
			その他		15,306				24,492		18,467	
			一般財源									
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算							報償費:19,390千円 役員費:583千円 委託料:3,483千円		報償費:12,482千円 役員費:1,650千円 委託料:1,440千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		411			1,615				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	出走選手の身体検査、健康管理、疾病治療および救急対応を適正に行った。競輪開催が滞りなく運営できるように調整等を適切に行った。新型コロナウイルス感染症対策に伴い、競輪選手の分宿対応を行った。				
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	落車等による事故に対し、早急に対応でき、大事に至ることがなかった。開催指導員の業務により、滞りなく競輪開催が運営できた。	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	競輪事業を円滑に開催するために必要不可欠な業務であるため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	本場開催が例年より多くなったため、医者の確保に苦慮した。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		ナイター及び通常開催に勤務可能な医者への声掛けを行う。
R4年度の目標	平日勤務可能な医師の確保。昨年度から引き続き、出場選手の適切な健康管理及び救急対応を行う。開催指導員に、参加選手等の調整・指導等を委託し、開催運営を滞りなく行う。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		開催ごとに医師の確保を行うとともに適切な処置ができる体制構築する。

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322		
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口出見	リーダー名	副主幹	担当者名	主幹	庄司 求	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322		
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口出見	リーダー名	副主幹	担当者名	主幹	庄司 求	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	場内警備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-			
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-			
総合戦略	基本目標	-	取り組み	-			
	政策	-		-			
	施策	-		-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第49条、松山市自転車競走実施条例7条						
事業の目的(どのような状態にするか)	警備員を配置し、多目的競技場内外の秩序を維持し、競輪事業実施において、公正及び安全を確保する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年1月に策定した松山中央公園多目的競技場における松山競輪自営警備計画に基づき、競輪事業を実施するにあたり、競技場内外の秩序維持や競輪の公正及び安全の確保に取り組んでいる。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	多目的競技場の来場者に対する場内の秩序の維持や安全を確保するため、警備会社に委託。また、園内道路の通行車両及び通行者に対する安全な交通誘導業務を警備会社に委託している。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費	項	開催費	目	開催経費	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				193,075				195,239	193,434	
決算額(B)(単位:千円)				102,693				105,621	-	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0				0	0	
	県支出金			0				0	0	
	市債			0				0	0	
	その他			102,693				105,621	193,434	
一般財源										
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料:105,621千円		委託料:193,434千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		90,382			89,618			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	多目的競技場内において、トラブルを未然に回避し、松山中央公園園内道路において、事故等が起こらないよう適切な交通誘導に努めた。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	概ね適切に場内の警備に努めている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		競輪事業を円滑に開催するために必要不可欠な業務であるため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	コロナワクチン接種会場として、売り場を一部提供しており、警備形態が変更となり対応が困難となっている。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		場内警備委託の契約更新のため業務の精査
R4年度の目標	以前同様、トラブルの回避及び園内道路における事故の防止に努める。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		周辺警備及び場内警備

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	副主幹	義農 優子	担当者名	主任	赤松 美香	主事
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	副主幹	岡本 徹也	担当者名	主査	義農 優子	主事

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	競輪広告事業				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	地方分権社会を推進する					重点プロジェクト	-			
施策	効率的な財政運営の推進					主な取り組み	-			
主な取り組み	健全な財政運営				市長公約	-				
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。					-				
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-					-			
	施策	-					-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第55条の2									
事業の目的(どのような状態にするか)	競輪開催を広く周知し、売上・集客率の向上を目指す。									
背景(どのような経緯で開始したか)	競輪開催を広く周知することで、売上向上並びに新規ファンの獲得を図るため。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	既存の競輪ファン及び女性や若者など新規ファンとなりうる可能性のある市民に対し、CS放送、地上波テレビ、新聞、インターネット等のあらゆるメディアを通じて、開催日程を広く周知するとともに、女性や若者など新規ファン獲得を目指す。また、記念競輪開催時にはイベントを実施し、競輪の魅力を訴求し、来場者の増加を図る。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費		目	開催経費	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				254,458			250,995			273,586			
決算額(B)(単位:千円)				165,339			182,744			273,586			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0			0			
	県支出金			0			0			0			
	市債			0			0			0			
	その他			165,339			182,744			273,586			
	一般財源			0			0			0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							広告料:94,754千円 委託料:83,476千円 印刷製本費:4,505千円			広告料:144,665千円 委託料:123,660千円 印刷製本費:5,244千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等													
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		89,119	68,251						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	新聞、テレビやインターネットなど各メディアでの広告掲載による売上及び集客数向上を図った。 記念開催でのイベント実施による売上及び集客数向上を図った。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			新聞、テレビやインターネットでの開催告知や、CS放送による実況中継などを複合的に実施することにより、事業を計画通り遂行することができた。				
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		既存の競輪ファン又は新規ファン獲得のための広告掲載、イベントの実施により売上、集客数向上に貢献しているため。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない					公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	近年、インターネット投票の利用者が増加しているため、web・SNS広告などのインターネット利用者を対象とした広告を利用し、競輪開催の周知及び魅力の発信により一層注力する必要がある。				環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策				新聞、テレビによる既存ファンへの周知ほもちろん、web・SNS広告も活用し、女性や若者の新規ファン獲得を目指す。			
R4年度の目標	前年度以上に費用対効果の高い広告を掲載できるよう、掲載媒体、掲載先や広告料の計画を綿密に立てる。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				各メディアでの開催情報の周知・広報、記念競輪開催でのイベントの実施。			

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	義農 優子	担当者名	主任	赤松 美香	主事	大野 里紗
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	岡本 徹也	担当者名	主査	義農 優子	主事	木村 優太

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	ファンサービス事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な財政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第55条の2					
事業の目的(どのような状態にするか)	来場者及びCS放送視聴者など、松山競輪を観戦するファンに対し、粗品の配布や送付することで売上、来場者の向上を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	ファンの方々が喜んでくれるサービスを提供することで売上アップに努め、また新規ファンの開拓を図るために開始。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	入場者やCS視聴者に対して粗品及びラッキーカードによるプレゼントの配布、競輪に関する情報の提供を行い、ファンサービスを充実させ、新規ファンの開拓を図る。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	開催経費	R3予算措置時期	当初	
				R2年度	R3年度							R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				112,852	124,696						117,208	
決算額(B)(単位:千円)				70,884	51,872							
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金	0	0						0	
			県支出金	0	0						0	
			市債	0	0						0	
			その他	70,884	51,872							117,208
			一般財源	0	0							0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							委託料:16,698千円		使用料及び賃借料:85,880千円 報償費:8,200千円 委託料12,800千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による減					
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		41,968	72,824							

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	競輪開催時に配布するファンサービス品、グッズの作成、出走表の作成、ホームページの保守・運用、インターネット上でのレース映像配信サービスの実施など。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	本場来場者へのファンサービス品進呈、CS放送視聴者及び新聞等読者グッズプレゼント等を行うことで、事業を計画通り遂行できた。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	来場者及びCS放送視聴者に向け、ファンサービスを実施することにより既存ファン及び新規ファン確保に繋がりが、売上及び集客数増加に繋がっている。								
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新規ファンの獲得に苦慮している。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			魅力あるファンサービス品やグッズの作成に努め、サービスの充実を図る。				
R4年度の目標	更なるファンサービスの強化及び競輪に対するマイナスイメージを払しょくし、来場者の増加を目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			ファンサービス品やグッズの作成、出走表の作成、ホームページの保守・運用などのファンサービスの実施、レース映像インターネット上へのレース映像配信サービスの実施。				

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ担当	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	中津 優	担当者名	主任	首藤 寛	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ担当	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	副主幹	古田 真樹	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	従事員共済会運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行財政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山競輪従事員共済会規約					
事業の目的(どのような状態にするか)	競輪従事員の相互共済の充実を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	競輪事業の開始による。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	競輪従事員共済会への負担金支出及び先進地視察研修事業への補助					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	負担金:1/2 補助金:事業費と市負担額との差額		
始期・終期(年度)	~ 令和 5		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	開催経費	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度					R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				1,568	1,434						1,232	
決算額(B)(単位:千円)				152	136							
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金	0	0						0	
			県支出金	0	0						0	
			市債	0	0						0	
			その他	152	136						1,232	
			一般財源	0	0						0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					負担金 136千円					負担金 132千円 補助金 1,100千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	1,416				1,298			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため,実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	先進地視察研修事業や、福利厚生事業を実施する従事員共済会へ負担金等を支出。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	先進地視察研修については未実施であったが、その他福利厚生の実施により従事員の勤労意欲の向上等を図ることが出来た。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	競輪事業を円滑に開催するために必要不可欠な業務であり、適切な管理を行った。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	従事員の減少に伴い事業の見直しを検討		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		福利厚生事業の見直しを検討する。	
R4年度の目標	競輪従事員の相互共済の充実を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		先進地視察研修事業や、福利厚生事業を実施する競輪従事員共済会へ負担金等を支出。	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ担当	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	中津 優	担当者名	主任	首藤 寛	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ担当	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	副主幹	古田 真樹	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	従事員等福利厚生事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	競輪事務所 制服支給規定					
事業の目的(どのような状態にするか)	競輪事業を円滑に推進するため、競輪従事員の勤労意欲等の向上を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	競輪事業の開始による。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	競輪従事員が競輪開催時に着用する被服等の支給					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和 5		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	開催経費	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度					R3年度	R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					2,520				1,635			1,440
決算額(B)(単位:千円)					479				1,340			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0			0
			県支出金		0				0			0
			市債		0				0			0
			その他		479				1,340			1,440
			一般財源		0				0			0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							消耗品 1,340千円				消耗品 1,440千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		2,041				295			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	従事員が着用する制服等の支給					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	従事員の勤労意欲の向上を図ることが出来た。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	臨時従事員の勤労意欲の向上を図り、競輪事業を円滑に推進することができた。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし。	
R4年度の目標	競輪事業を円滑に遂行するため、競輪従事員の福利厚生の充実を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		耐用年数を経過した制服等の更新。	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	義農 優子	担当者名	主査	玉井 信	主事	赤松 美香
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	岡本 徹也	担当者名	主査	玉井 信	主事	赤松 美香

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施設コード)	62231	施設維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	効率的な財政運営の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-			
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第3条・第49条、松山市自転車競走実施規則第24条						
事業の目的(どのような状態にするか)	多目的競技場施設の維持管理において専門的な知識・技術が必要なものについては業務委託を行い、適切な管理を行うこと。						
背景(どのような経緯で開始したか)	多目的競技場施設、設備等の維持管理に必要なため。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】多目的競技場施設 【事業内容】一般廃棄物処理、産業廃棄物処理業務を清掃業者へ委託し、各種施設・設備・機械保守点検業務を各種保守点検業者へ委託。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	開催経費	R3予算措置時期	当初	准
				R2年度	R3年度							
現計予算額(A)(単位:千円)					505,871				573,376			429,042
決算額(B)(単位:千円)					228,451				400,485			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金		0				0			0
			県支出金		0				0			0
			市債		0				0			0
			その他		228,451				400,485			429,042
			一般財源		0				0			0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委託料 170,678千円 工事請負費 126,803千円 使用料及び賃借料 4,933千円		委託料 189,186千円 工事請負費 90,000千円 使用料及び賃借料 10,920千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		277,420				172,891			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	施設の維持管理 ・一般廃棄物処理、産業廃棄物処理業務委託 ・各種施設・設備・機械保守点検業務委託 ・施設運転管理業務委託 ・清掃業務委託											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	競輪開催業務に支障をきたさないよう適切に施設の維持管理に努めている。								
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	競輪事業を円滑に開催するために必要不可欠な業務であり、適切な管理を行った。									
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない						
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	競走の安全性を確保するために、走路の大規模改修の検討が課題となっている。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	競走の安全性確保のために適宜補修工事を実施し、大規模改修工事の計画を検討する。							
R4年度の目標	経年劣化による施設・設備の劣化が進んでいるため、適切に点検等を実施し、競輪開催業務に支障をきたさないよう修理・交換を適宜実施していく。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	自家発電設備制御盤改修工事を実施する。							

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322		
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹	義農 優子	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事業グループ	連絡先	965-4322		
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	副主幹	担当者名	副主幹	岡本 徹也	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	機器等管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行財政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第22条、松山市自転車競走実施規則第13条、第19条					
事業の目的(どのような状態にするか)	自転車競技関係機器及び関連機器の運用・保守を委託する等、開催業務の円滑化を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	競輪事業に必要な機器等の保守・点検業務のため、自転車競技法第11条に基づき、競輪の収益をもって、競輪事業に必要な機器の整備及び管理を行っている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	全国の各競輪場が車券の発売業務、払戻業務及び付随する競輪関係業務を遂行するため導入している、全国統一の次世代ターミナルシステム「Next-VIS」の保守点検業務の実施を含む、競輪事業実施に欠かせない関連機器の修理等のため、株式会社日本ベンダーネットに業務委託。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	~ 令和		4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催日	目	事務局費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)				426,830	444,354					430,409	
決算額(B)(単位:千円)				320,924	312,289						
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金	0	0					0	
			県支出金	0	0					0	
			市債	0	0					0	
			その他	320,924	312,289					430,409	
			一般財源	0	0					0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委託料204,871千円 使用料及び賃借料:77,030千円			委託料311,426千円 使用料及び賃借料:90,751千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	105,906	132,065						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	機器等を適切に管理し、経年劣化等による故障で自転車競技の開催・運営に支障をきたさないよう適宜修理・交換等を実施した。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	自転車競技の開催・運営に支障をきたさないよう業務に取り組んでいる。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	競輪事業を円滑に開催するために必要不可欠な業務である。								
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	高知借上げ開催については、R4年度で終了予定。今後想定される経年劣化等による故障への対応。			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			機器等の入替時期の計画。				
R4年度の目標	機器等を適切に管理し、経年劣化等による故障で自転車競技の開催・運営に支障をきたさないようにする。高知競輪借上げ開催も同様とする。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			機器等を適切に管理し、経年劣化等による故障で自転車競技の開催・運営に支障をきたさないようにする。高知競輪借上げ開催も同様とする。				

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	中津 優	担当者名	主任	首藤 寛	主査	岡崎 弘
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主任	首藤 寛	主事	大野 里紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	場外開催事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し	
根拠法令,条例,個別計画等		自転車競技法第22条、松山市自転車競走実施規則第13条、第19条				
事業の目的(どのような状態にするか)	他の競輪場や場外車券売場に、松山市営競輪の臨時場外車券売場を設置してもらうことで、車券発売金の増加を図る。*					
背景(どのような経緯で開始したか)	以前から記念競輪等については、お互いに発売を行っていたが、近年は記念以外の開催も発売を積極的に進めており、特にナイター競輪開始からは、関東を中心に、ナイターを発売できる場外車券売場に発売を依頼している。*					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山市外の競輪場の施行者・地元自治体および場外車券売場の設置会社・運営会社等 事業内容:車券売場を所管する施行者に発売を依頼し発売を承諾した施行者等と発売に関する協定を締結し、車券売場を賃借するとともに運営に係る業務等を委託する。協定に基づき、必要があれば開催に係る経費を資金前渡し、開催終了後には売上に応じた施設賃借料や業務委託料等を、車券発売を依頼した競輪施行者・場外車券売場の運営会社等に支出する。*					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)		~ 令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費	項	開催費	目	自転車関係団体等交付金	R3 予算措置時期	当初	12月補正
				R2年度			R3年度			R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				2,890,090			3,799,253			3,451,912	
決算額(B)(単位:千円)				2,744,372			3,343,114				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0			0			0	
	県支出金			0			0			0	
	市債			0			0			0	
	その他			2,744,372			3,343,114			3,451,912	
	一般財源			0			0			0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算							委託料:3,331,928千円 使用料及び賃借料:10,546千円			委託料:3,365,858千円 使用料及び賃借料:85,354千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等							12月補正:381,000千円 弾力率項:381,000千円 流用による増				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			145,718			456,139	

*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	松山市営競輪に係る車券発売の依頼から、経費の支出・精算までを行った。*					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など		記念競輪の時期の移動と開催日数の減による車券売上金の減少が見込まれていたが、ほぼ前年並みを維持できた点。*	
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		車券売場を松山市外に展開することで、車券売上金の増加につながっているため。*		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	3 1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特になし		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	ナイター競輪の場外発売を取り扱う競輪場等が増加しているため、一層の事務の効率化を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		松山市営競輪に係る車券発売の依頼から、経費の支出・精算までを行う。	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	中津 優	担当者名	主査	岡崎 弘	主任	首藤 寛
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	主任	首藤 寛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	全国競輪施行者協議会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	無し					
事業の目的(どのような状態にするか)	全国の競輪施行者を会員とし、開催に関する施行者間の調整や、研究等を行っている全国競輪施行者協議会に対して、定額の分担金や競輪選手共済会への分担金、電話投票に係る分担金等を支出し、競輪の円滑な運営を図っている。					
背景(どのような経緯で開始したか)	全国競輪施行者協議会の設立による。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	交付先:公益社団法人 全国競輪施行者協議会 公益社団法人 全国競輪施行者協議会の会則に基づき、1回開催終了ごとに請求される分担金を支出している。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 25	～	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	開催経費	R3 予算措置時期	当初	12月補正
				R2年度	R3年度							
現計予算額(A)(単位:千円)				275,077	409,262							252,656
決算額(B)(単位:千円)				220,260	326,144							
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳			国支出金	0	0							0
			県支出金	0	0							0
			市債	0	0							0
			その他	220,260	326,144							252,656
			一般財源	0	0							0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算				全国競輪施行者協議会負担金:326,144千円*		全国競輪施行者協議会負担金:252,656千円*						
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等				12月補正:20,060千円 弾力条項:20,060千円								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	54,817	83,118						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	1回開催ごとに、会則に基づき算出された分担金を、公益社団法人 全国競輪施行者協議会に支出*											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点、悪かった点など		適正に分担金の支出を行った。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもいえない		左記の理由		会則に基づき分担金であり、貢献度を図る事業と性格が異なるため。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	特になし			環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策			特になし					
R4年度の目標	請求後、遅滞なく支出を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			1回開催ごとに、会則に基づき算出された分担金を、公益社団法人 全国競輪施行者協議会に支出。					

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	中津 優	担当者名	主査	岡崎 弘	主任	首藤 寛
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	主任	首藤 寛

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	払戻金事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	効率的な行財政運営の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-			
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-			
総合戦略	基本目標	-	取組み	-			
	政策	-		-			
	施策	-		-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第12条 *						
事業の目的(どのような状態にするか)	法令に基づき、当該レースの車券売上金の75%を車券購入者に払戻金として交付している。						
背景(どのような経緯で開始したか)	競輪事業の開始による。*						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:車券購入者 事業内容:競輪開催終了後、発売金及び払戻金額が確定した段階で、会計上の処理として、払戻金事業から車券発売金へ、歳出から歳入への公金振替を行う。また、記念競輪等で、松山競輪及び他の場外車券売場で開催準備金が必要な場合、当該施行者の資金前渡担当者等に資金前渡を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	払戻金*	R3 予算措置時期	当初	12月補正
				R2年度	R3年度							
現計予算額(A)(単位:千円)				17,925,000			20,287,500		19,425,000			
決算額(B)(単位:千円)				16,022,204			19,145,847					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0			0		0			
	県支出金			0			0		0			
	市債			0			0		0			
	その他			16,022,204			19,145,847		19,425,000			
一般財源			0			0		0				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							償還金:19,145,847千円*		償還金:19,425,000千円*			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							12月補正:1,875,000千円 弾力率項:1,875,000千円 流用による減*					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			1,902,796		1,141,653			

*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	払戻金に係る会計システム上の処理の他、記念競輪等における場外発売施設への開催準備金の資金前渡を行った。*											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			適正に事業を運営した*					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			車券購入の動機付けとなり、車券発売に貢献している。*						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし					
R4年度の目標	払戻金に係る事業の運営を適正に行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			払戻金に係る会計システム上の処理の他、記念競輪等における場外発売施設への開催準備金の資金前渡を行う。					

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	中津 優	担当者名	主任	首藤 寛	主査	岡崎 弘
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	主事	大野 里紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	JKA委託事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	効率的な行財政運営の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-			
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第3条及び第40条*						
事業の目的(どのような状態にするか)	選手管理や自転車の検査、レースの審判、番組の編成等、競輪競技に関する事務を委託することにより、競輪事業の公正かつ円滑な運営を図り、競輪に対する信頼性を確保する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和25年の競輪事業開始当初から、自転車競技法で競輪実施について所定の団体に委託することが規定されており、平成19年に各地区の自転車競技会が、日本自転車競技会に統合されたことから、平成20年度より、日本自転車競技会への委託事業となっている。その後、競輪団体の業務整理を図るため、平成26年に公益財団法人JKAIに吸収合併された。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	競輪に出場する選手及び競輪に使用する自転車の競走前の検査、競輪の審判その他の競輪の競技に関する事務。 競輪1回次開催ごとに、売上に基づき委託契約で定められた算出方法により算出された委託料を公益社団法人JKAIに支出している。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成	20	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費	項	開催費	目	自転車関係団体交付金	R3 予算措置時期	当初	12月補正	
				R2年度			R3年度			R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				374,740				340,830	322,459			
決算額(B)(単位:千円)				284,395				286,448	-			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0				0	0			
	県支出金			0				0	0			
	市債			0				0	0			
	その他			284,395				286,448	322,459			
	一般財源			0				0	0			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算							委託料:286,448千円			委託料:322,459千円*		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							12月補正:26,330千円 弾力条項:31,500千円					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)			90,345	54,382				

*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	出場選手の斡旋依頼、選手、自転車検査、選手管理、番組編成等を委託し、事業の公正かつ円滑な運営を行った。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	請求に基づき、遅滞なく適正に支出を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		競技実施法人に事務委託することにより、競輪事業の公正かつ円滑な運営を図り、競輪事業に対する信頼性を確保している。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標	開催終了後、30日以内という納期を遵守し、支出を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		1回次開催ごとに、売上に基づき算出された委託料を、公益社団法人 JKAIに支出する。

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	中津 優	担当者名	主任	首藤 寛	主査	岡崎 弘
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322				
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リーダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	主事	大野 里紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	62231	JKA交付金事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-		
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第16条 同施行規則第24条					
事業の目的(どのような状態にするか)	競輪競技に関する業務を行う公益財団法人JKAに対して交付金を納付し、競輪の公正かつ円滑な実施を図るとともに、同法人による機械工業振興及び体育事業その他の公共の増進を目的とする事業への補助金の財源とされている。*					
背景(どのような経緯で開始したか)	以前は、日本自転車振興会交付金事業として、昭和32年に設立された前身組織である特殊法人日本自転車振興会に交付金を支出していたが、国の特殊法人改革に伴い、現在の組織が設立されたことによる。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	競輪1回開催ごとに、売上に基づき法定の方法で算出された交付金を支出している。 交付先:公益財団法人JKA					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	平成 21	~	令和 5	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	自転車関係団体等交付金	R3 予算措置時期	当初	12月補正
				R2年度	R3年度							
現計予算額(A)(単位:千円)				664,915	830,740							527,362
決算額(B)(単位:千円)				431,069	525,536							
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0	0							0
	県支出金			0	0							0
	市債			0	0							0
	その他			431,069	525,536							527,362
	一般財源			0	0							0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				JKAIに対する交付金:525,536千円			JKAIに対する交付金:527,362千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				12月補正:182,300千円 弾力条項:192,440千円								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	233,846		305,204					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	1回開催ごとに、売上に基づき算出された交付金を、公益財団法人JKAに支出した。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	請求に基づき、遅滞なく適正に支出を行った。								
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない		左記の理由	法定の交付金であり、貢献度を図る業務とは性質が異なるため。*								
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない						
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特になし				
R4年度の目標	開催終了後、30日以内という納期を遵守し、支出を行う。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				1回開催ごとに、売上に基づき算出された交付金を、公益財団法人JKAに支出する。*				

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	中津 優	担当者名	主査	岡崎 弘	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	62231	地方公共団体金融機構納付金事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	健全な財政運営		市長公約	-			
取り組みの柱	中長期的な展望のもと、一般会計や特別会計、企業会計における持続可能な財政運営に努めます。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	地方財政法第32条の2 同施行令附則第2条						
事業の目的(どのような状態にするか)	公営競技を行う地方公共団体は、地方公共団体金融機構に対して納付金を支出することが法律で定められているため、所定の算定方法により、納付金の支出を要する場合は支出を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	公営競技収益を等しく分配するための方策として、収益を納付金として納付し、その運用益を地方公営企業の金利引き下げに充てる目的で、昭和45年に制度が創設された。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	地方公共団体金融機構に対して法令に定められた納付金を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	法令で定められている。			
始期・終期(年度)	昭和	45	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	競輪費		項	開催費	目	地方公共団体金融機構納付金	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)				10,000	10,000					10,000	
決算額(B)(単位:千円)				0	0					0	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金	0	0					0	
			県支出金	0	0					0	
			市債	0	0					0	
			その他	0	0					10,000	
			一般財源	0	0					0	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算										負担金:10,000千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	10,000	10,000						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地方公共団体金融機構より納付金の算定に関する様式が送付されるため、前年度の歳入や歳出について、様式に当てはめて納付金の算定を行うとともに、決算書等の根拠資料も併せて同機構に提出し、機構からの納付金額の通知を受けた後に地方公共団体金融機構へ納付金を支出する。 令和3年度の納付金額については、出納閉鎖期間後の様式等提出を予定している。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	納付金の支出は発生しない見込みである。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	4:どちらもない	左記の理由	法定の納付金であり、貢献度を図る性質の事業ではないため。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし	
R4年度の目標	法令に従い、適切な処理をする。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		前年度の歳入や歳出について、納付金の算定を行うとともに、決算書等の根拠資料も併せて同機構に提出し、納付金額を確定させ納付金を支出する。	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	中津 優	担当者名	主査	岡崎 弘	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	競輪事業特別会計繰出金	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他			重点プロジェクト	-		
施策	その他			主な取り組み	-		
主な取り組み	その他		市長公約	-			
取り組みの柱	その他			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	自転車競技法第16条 同施行規則第24条・						
事業の目的(どのような状態にするか)	市債及び一般会計借入金の償還に必要な財源を確保する。*						
背景(どのような経緯で開始したか)	天災等の影響により、競輪の開催が困難となる等、一定の競輪事業収入が確保できない不測の事態が生じた際に、市債等の償還を行うため。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市債及び一般会計借入金の償還金。 不測の事態が生じ、競輪事業収入で市債等の償還が不可能な場合に、一般会計から繰り出しを行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	15	～	令和	6	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	商工費		目	商工総務費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				324,047	322,718				187,609
決算額(B)(単位:千円)				0	0				0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金		0	0				0
		県支出金		0	0				0
		市債		0	0				0
		その他		0	0				187,609
		一般財源		0	0				0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算									・市債元金:185,290千円 ・市債利子:2,319千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	324,047	322,718				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	一般会計からの繰出しを行わず、競輪事業収入で市債等の償還を行うことができた。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	競輪事業収入で市債等の償還を行った。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	競輪事業収入で市債等の償還を行った。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし	
R4年度の目標	競輪事業収入で市債等の償還を行い、一般会計からの繰り出しを行わない。*			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	不測の事態が生じ、競輪事業収入で市債等の償還が不可能な場合に、一般会計から繰り出しを行う	

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	中津 優	担当者名	主査	岡崎 弘	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	他会計借入金元金				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	その他					重点プロジェクト	-		
施策	その他					主な取り組み	-		
主な取り組み	その他				市長公約	-			
取り組みの柱	その他					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	競輪事業会計の公債費の抑制。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成15年度に借り入れた多目的競技場建設資金(銀行等引受資金)の借り換え時に、その資金を一般会計から借り入れ繰上償還を行った。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	一般会計借入金の元金償還。								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	償還金		目	他会計借入金償還金	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				267,058	133,529				0
決算額(B)(単位:千円)				267,058	133,529				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0	0				0
	県支出金			0	0				0
	市債			0	0				0
	その他			267,058	133,529				0
	一般財源			0	0				0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				償還金:133,529千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	0				0

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	一般会計借入金の元金償還。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			当初の予定通り年次償還を行った。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		競輪事業会計の支出抑制						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし			
R4年度の目標					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)					

令和4年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	中津 優	担当者名	主査	岡崎 弘	
令和3年度	部局等名	産業経済部	課等名	競輪事務所	担当グループ名	事務グループ	連絡先	965-4322			
	部等長名	家串 正治	課等長名	樋ノ口 出見	リダー名	主幹	竜子 浩之	担当者名	主査	岡崎 弘	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	他会計借入金利子				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他					重点プロジェクト	-			
施策	その他					主な取り組み	-			
主な取り組み	その他				市長公約	-				
取り組みの柱	その他					-				
総合戦略	基本目標	-			取組み	-				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	競輪事業会計の公債費の抑制。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成15年度に借り入れた多目的競技場建設資金(銀行等引受資金)の借り換え時に、その資金を一般会計から借り入れ繰上償還を行った。									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	一般会計借入金の利子償還。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由							
始期・終期(年度)	平成	25	～	令和	3	終期の種別	1:事業の終了時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	競輪事業特別会計	款	償還金		目	他会計借入金償還金	R3 予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				918	585				0
決算額(B)(単位:千円)				918	250				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0	0				0
	県支出金			0	0				0
	市債			0	0				0
	その他			918	250				0
	一般財源			0	0				0
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				償還金:250千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	0	335			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	一般会計からの繰出しを行わず、競輪事業収入で市債等の償還を行うことができた。										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			競輪事業収入で市債等の償還を行った。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		競輪事業収入で市債等の償還を行った。							
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし			
R4年度の目標					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)						